

# 行政事業レビューシート サブシート

事業番号 当初 5 - 11

<b>予算事業名</b>	常習飲酒運転者に講ずべき安全対策に関する調査研究		<b>事業開始年度</b>	平成20年度		<b>作成責任者</b>	
<b>担当部局</b>	警察庁		<b>担当課室</b>	運転免許課		運転免許課長 首藤 祐司	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>上位事業</b>	交通警察			
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	-			
<b>事業概要 (5行程度以内)</b>	飲酒運転の再犯の防止に関しては、道路交通の安全という観点から、飲酒運転をした者の運転免許を取り消すなどして道路交通の場から排除することが基本であるが、アルコール依存症やそれに至っていない問題飲酒者、さらには飲酒行動に問題はないものの規範意識が弱く飲酒運転を行う者について、飲酒運転を防止するという観点からのアプローチも重要である。こうした中、警察が行う飲酒運転違反者等に対する処分者講習等の在り方を見直し、その内容を充実させることを目的として行ったものである。 <span style="float: right;">【平成20年度～平成21年度計画の最終年度】</span>						
<b>実施状況</b>	平成21年度調査研究では、呼気検査、アルコール使用障害に関するスクリーニングテスト(AUDIT)、飲酒行動の改善を内容としたワークブックを用いた指導、飲酒をテーマとしたディスカッションを主な内容とした教育を概ね6週間で4回にわたって行う新しい取消処分者講習を試行実施し、この結果を踏まえ、飲酒運転を理由として取消処分を受けた者に対して実施する新しい取消処分者講習の在り方について、検討を行ったところである。						
<b>予算の状況 (単位:百万円)</b>		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求	
	予算額(補正後)	-	9	3	-	-	
	執行額	-	9	3	/	/	
	執行率	-	97%	89%	/	/	
	総事業費(執行ベース)	-	9	3	/	/	
<b>自己点検 (使途の把握水準や見直しの余地等)</b>	本事業については、警察庁が直接契約していることから、支出先を把握している。 2ヶ年の調査研究で、事業は予定どおり完了し、報告書も取りまとめられ、当初の目的を達成できた。						
<b>資金の流れ / 費目・使途</b>	警察庁 3百万円 (調査研究事業を委託)			A. 都市交流プランニング株式会社			
	↓			費目	使途	金額 (百万円)	
	【一般競争入札】			人件費	主任技師等	1	
	A. 都市交流プランニング 株式会社 3百万円			その他	会議開催経費等 (会場借上、謝礼、印刷製本)	2	
	(受託した調査研究事業を実施)						
				計		3	

# 常習飲酒運転者に講ずべき安全対策の充実

